

検査内容変更のご案内

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り、誠に有り難く厚くお礼申し上げます。

この度、下記の検査項目について検査内容の変更がありましたのでお知らせいたします。急な変更で先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後とも当検査センターをご利用くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

●変更対象項目

現行 項目No	変更対象項目	種別	変更・中止適用日
211	LD アイソザイム	検査方法の変更	令和3年3月31日
212	ALP アイソザイム	検査方法の変更	令和3年3月31日
1329	TBG (サイロキシン結合グロブリン)	検査方法の変更	変更済
199	アデノシンデアミナーゼ (ADA) [血清]	検査方法の変更	令和3年3月31日
5050	アデノシンデアミナーゼ (ADA) [穿刺液]	検査方法の変更	令和3年3月31日
1322	遊離 T3 (FT3)	基準値の変更	令和3年4月1日
299	尿 NTx (I型コラーゲン架橋 N-テロペプチド)	検査方法の変更	令和3年3月31日
133	リポ蛋白分画 (PAGE)	受託中止・代替	令和3年3月31日
1053	フィブリンゲン定量	基準値の変更等	令和3年4月1日
1091	Dダイマー	外注先変更	令和3年4月1日
3267	M-70ピチロスポリウム	受託中止	令和3年3月31日
1343	高感度 PTH (副甲状腺ホルモン中央部)	受託中止	変更済
163	LD	検査方法の変更	令和3年4月1日
164	ALP	検査方法の変更	令和3年4月1日

なお、ご不明な点がございましたら下記にご連絡ください。

(担当: 検査課 中田、山口、加藤 検査室 直通電話番号076-239-3832)

◆LD アイソザイム [現行 項目No211] 検査方法(IFCC 法)への移行

	新	現行
項目 No	1211	211
項目名	LD アイソザイム	同左
JLAC10 コード	3B055-0000-023-238-00	3B055-0000-023-232-00
検体必要量	血清 0.3mL	同左
容 器	AO 汎用血液真空採血管(分離剤入り)	同左
保存方法	室温(凍結不可)	同左
所要日数	3~5 日	同左
検査方法	電気泳動法(アガロース膜)	同左
基準値	LD1 20.0~31.0 LD2 28.8~37.0 LD3 21.5~27.6 LD4 6.3~12.4 LD5 5.4~13.2 総活性値 120~245 LD1 定量 24~76 LD2 定量 35~91 LD3 定量 26~68 LD4 定量 8~30 LD5 定量 6~32	LD1 20~32 LD2 28~35 LD3 21~27 LD4 6~13 LD5 4~14 総活性値 120~245 LD1 定量 24~78 LD2 定量 34~86 LD3 定量 25~66 LD4 定量 7~32 LD5 定量 5~34 H サブユニット 55~70 M サブユニット 30~45 LD1/LD2 0.65~1.00 LD3/LD1 0.65~1.25 LD5/LD4 0.45~1.30
単 位	分画値 : % 定量値 : U/L	分画値、サブユニット値 : % 定量値 : U/L
報告範囲	分画値 : 0.0~100.0 総活性値 : 4 以下~130000 分画定量値 : 0~130000	分画値、サブユニット値 : 0~100 定量値 : 0~最終値 LD 比 : 0.00~100.00
報告桁数	分画値 : 小数第 1 位 定量値 : 整数	分画値、定量値、サブユニット値 : 整数 LD 比 : 小数第 2 位
保険点数/判断料	48 点/144 点(生化学的検査 I)	同左

◆ALP アイソザイム [現行 項目No212] 検査方法(IFCC 法)への移行

	新	現行
項目No	1212	212
項目名	ALP アイソザイム	同左
JLAC10 コード	3B080-0000-023-238-00	3B080-0000-023-233-00
検体必要量	血清 0.3mL	同左
容器	AO 汎用血液真空採血管(分離剤入り)	同左
保存方法	冷蔵	同左
所要日数	3~5 日	同左
検査方法	電気泳動法(アガロース膜)	同左
基準値	ALP1 0.0~5.3 ALP2 36.6~69.2 ALP3 25.2~54.2 ALP4 0.0 ALP5 0.0~18.1 ALP6 0.0	ALP1 0 ALP2 36~74 ALP3 25~59 ALP4 0 ALP5 0~16 ALP6 0
単位	%	同左
報告範囲	0.0~100.0	0~100
報告桁数	小数第 1 位	整数
保険点数/判断料	48 点/144 点(生化学的検査 I)	同左

◆TBG (サイロキシン結合グロブリン) [現行 項目No1329] 検査方法の変更

	新	現行
項目No	1331	1329
項目名	TBG	同左
JLAC10 コード	4B045-0000-023-052-01	4B045-0000-023-002-01
検体必要量	血清 0.3mL	血清 0.4mL
容器	AO 汎用血液真空採血管(分離剤入り)	同左
保存方法	凍結	冷蔵
所要日数	5~8 日	3~6 日
検査方法	CLEIA 法	RIA・PEG 法
基準値	14.0~31.0	12.0~28.0
単位	μg/mL	同左
報告範囲	3.5 未満~400.0 以上	2.5 以下~最終値
報告桁数	小数第 1 位	同左
保険点数/判断料	130 点/144 点(生化学 II)	同左

◆ADA-血清 [現行 項目No199] 検査方法の変更

	新	現行
項目 No	1199	199
項目名	ADA	同左
JLAC10 コード	3B130-0000-023-271-01	3B130-0000-023-272-01
検体必要量	血清 0.5mL	同左
容 器	AO 汎用血液真空採血管(分離剤入り)	同左
保存方法	冷蔵	同左
所要日数	3~4 日	同左
検査方法	酵素法	UV 法(酵素法)
基準値、単位	4.8~23.1、U/L	7.8~21.1、U/L
報告範囲、桁数	2.0 未満~最終値、小数第 1 位	1.0 以下~最終値、小数第 1 位
保険点数/判断料	32 点/144 点(生化学的検査 I)	同左

【検査方法の参考文献】山田満廣、他：JJCLA 17,135-140,1992.

◆ADA-穿刺液 [現行 項目No5050] 検査方法の変更

	新	現行
項目 No	5051	5050
項目名	ADA 穿刺液	同左
JLAC10 コード	3B130-0000-042-271-01	3B130-0000-042-272-01
検体必要量	胸水 0.5mL	同左
容 器	BO	同左
保存方法	冷蔵	同左
所要日数	3~4 日	同左
検査方法	酵素法	UV 法(酵素法)
基準値、単位	設定なし、U/L	同左
報告範囲、桁数	2.0 未満~最終値、小数第 1 位	1.0 以下~最終値、小数第 1 位
保険点数/判断料	32 点/144 点(生化学的検査 I)	同左

【検査方法の参考文献】山田満廣、他：JJCLA 17,135-140,1992.

◆遊離 T3(FT3) [現行 項目No1322] 基準値の変更

	新	現行
項目 No	1322	1322
項目名	遊離 T3	同左
JLAC10 コード	4B015-0000-023-051-01	同左
基準値	1.68~3.67pg/mL	1.88~3.18pg/mL
保険点数/判断料	127 点/144 点(生化学的検査 II)	同左

◆NTx 骨粗鬆症/尿 [現行 項目No299] 検査方法の変更

	新	現行
項目 No	1299	299
項目名	NTx 骨粗鬆症/尿	同左
JLAC10 コード	5C123-0000-001-052-00	5C123-0000-001-021-00
検体必要量	尿（早朝第二尿）2.0mL	同左
容器	BO	同左
保存方法	冷蔵	凍結
所要日数	3~5 日	4~6 日
検査方法	CLEIA 法	EIA 法
基準値	M (40~59 才) : 13.0~66.2 F (閉経前 30~44 才) : 9.3~54.3 (閉経後 45~79 才) : 14.3~89.0	同左
単位	NTX 濃度 : nM BCE/L NTX/Cre 補正 : nM BCE/mM・Cre	同左
報告範囲	NTX 濃度 : 15.0 未満~30000 以上 NTX/Cre 補正 : 0.1 未満~最終値	NTX 濃度 : 20 以下~最終値 NTX/Cre 補正 : 0.1~最終値
報告桁数	小数第 1 位	同左
保険点数/判断料	156 点/144 点(生化学的検査Ⅱ)	同左
	原発性副甲状腺機能亢進症の手術適応の決定、副甲状腺機能亢進症手術後の治療効果判定又は骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択に際して実施された場合に算定。なお、骨粗鬆症の薬剤治療方針の選択時に 1 回、その後 6 月以内の薬剤効果判定時に 1 回に限り、また薬剤治療方針を変更した時は変更後 6 月以内に 1 回に限り算定できる。ただし、1 型コラーゲン架橋 N-テロペプチド(NTX)、デオキシピリジノリン(DPD) (尿)、オステオカルシン(OC)を併せて実施した場合はいずれか 1 つのみ算定。<悪性腫瘍特異物質治療管理料 1 項目 360 点、2 項目以上 400 点>乳癌、肺癌又は前立腺癌であると既に確定診断された患者について骨転移の診断のために検査を行い、検査の結果に基づいて計画的な治療管理を行った場合に算定。	
	尿中 1 型コラーゲン架橋 N-テロペプチドの判定基準 ① 副甲状腺摘出術の適応: 200nM BCE/mM・Cre 以上 ② 悪性腫瘍(乳癌、肺癌、前立腺癌)の骨転移の指標: 100 nM BCE/mM・Cre 以上 ③ 骨吸収亢進の指標: 55 nM BCE/mM・Cre 以上 骨粗鬆症薬剤治療の指標 骨折高リスクの指標: 54.3 nM BCE/mM・Cre 超 骨量減少高リスクの指標: 35.3 nM BCE/mM・Cre 以上	同左

【参考文献】 三浦雅一：骨と骨代謝 15,271-280,2002.

【基準値の参考文献】日本骨粗鬆症学会 骨代謝マーカー検討委員会 編集：骨粗鬆症診療における骨代謝マーカーの適正使用ガイド 2018 年版、ライフサイエンス出版,2018.

◆リポ蛋白分画(PAGE) [現行 項目No133] 受託中止、代替項目へ移行

代替項目	
項目 No	132
項目名	リポ蛋白分画 HPLC
JLAC10 コード	3F140-0000-023-0204-00
検体必要量	血清 0.5mL
容 器	AO 汎用血液真空採血管(分離剤入り)
保存方法	冷蔵
所要日数	3~6 日
検査方法	HPLC 法
基準値	下欄参照
単 位	分画 %、定量値 mg/dL
報告範囲	分画 : 0.0~100.0 定量値 LDL : 1.0 未満~400 以上 定量値その他 : 1.0 未満~200 以上 総コレステロール : 1 未満~600 以上
報告桁数	分画、定量値 : 小数第 1 位 総コレステロール : 整数
保険点数/判断料	129 点/144 点(生化学的検査 I)

リポ蛋白分画/HPLC 法(基準値)

	分画(%)	定量値(mg/dL)
HDL	23.6~49.8	40.6~91.4
LDL	42.2~63.8	67.8~132.6
IDL	2.2~6.1	3.8~12.5
VLDL	2.6~13.9	4.9~22.8
Other	0.8~4.4	1.5~9.1
総コレステロール		150~219

◆フィブリノゲン定量 [現行 項目No1053] 内部検査から外部委託検査へ移行

	新	現行
項目 No	1056	1053
項目名	フィブリノゲン定量	同左
JLAC10 コード	2B100-0000-022-311-01	同左
検体必要量	血液 1.8mL	同左
容 器	CO または B11 (血液凝固検査用)	同左
保存方法	冷蔵	同左
所要日数	2~3 日	1~2 日
検査方法	凝固時間測定法	散乱光度法
基準値、単位	150~400 mg/dL	150~350 mg/dL
保険点数/判断料	23 点/125 点(血液学的検査)	同左

◆Dダイマー [現行 項目No1091] 外部委託先の変更

	新	現行
項目 No	1093	1091
項目名	Dダイマー	同左
JLAC10 コード	2B140-0000-022-062-01	2B140-0000-022-023-01
検体必要量	血液 1.8mL	同左
容 器	CO または PC2(血液凝固検査用)	CO または B11(血液凝固検査用)
保存方法	冷蔵	同左
所要日数	3~5日	3~4日
検査方法	ラテックス免疫比濁法	同左
基準値、単位	1.0未満 $\mu\text{g}/\text{mL}$	同左
保険点数/判断料	23点/125点(血液学的検査)	同左

◆M-70 ピティロスポリウム [現行 項目No3267] 受託中止、代替項目へ移行

	代替項目	現行(受託中止)
項目 No	3269	3267
項目名	M-227 マラセチア(属)	M-70 ピティロスポリウム
JLAC10 コード	5A100-2522-023-023-00	5A100-2517-023-023-00
検体必要量	血清 0.3mL	同左
容 器	AO 汎用血液真空採血管(分離剤入り)	同左
保存方法(安定性)	冷蔵	同左
所要日数	1~2日	2~3日
検査方法	FEIA 法	同左
基準値(単位)	0.34 以下(UA/mL)	同左
保険点数/判断料	110点/144点(免疫学的検査)	同左

◆高感度 PTH(副甲状腺ホルモン中央部) [現行 項目No1343] 受託中止、代替項目へ移行

	代替項目	現行(受託中止)
項目 No	1342	1343
項目名	PTH-インタクト(副甲状腺ホルモン-INTACT)	高感度 PTH(副甲状腺ホルモン中央部)
JLAC10 コード	4C025-0000-023-053-00	4C015-0000-023-006-00
検体必要量	血清 0.5mL	同左
容 器	AO 汎用血液真空採血管(分離剤入り)	同左
保存方法	冷蔵	同左
所要日数	3~5日	5~7日
検査方法	ECLIA 法	IRMA 法(RIA 固相法)
基準値(単位)	10~65(pg/mL)	74~273(pg/mL)
保険点数/判断料	170点/144点(生化学的検査Ⅱ)	同左

◆LD/IFCC [項目 No1163] 案内文書の訂正

令和3年1月21日付の石医臨発24号でご案内しました下記の変更内容（LD/IFCCの基準値）に間違いがありました。正誤表のとおり訂正いたします。

●変更内容（令和3年4月1日受付分からの変更）

	LD（乳酸脱水素酵素）		ALP（アルカリホスファターゼ）	
	新	旧	新	旧
項目名	LD/IFCC	LD	ALP/IFCC	ALP
項目コード	1163	163	1164	164
測定方法	IFCC 標準化対応法	JSCC 標準化対応法	IFCC 標準化対応法	JSCC 標準化対応法
基準値	120~245U/L	119~229U/L	38~113U/L	115~359U/L
緊急報告値	1000U/L以上	1000U/L以上	500U/L以上	1500U/L以上
備考	緊急報告値（パニック値）が検出された場合は、測定後速やかにFAXまたは電話でご報告致します。			

●正誤表

	基準値（正）	基準値（誤）
LD/IFCC [項目 No1163]	124~222U/L	120~245U/L